

変更点

1) 輸送便益

大阪市が行っている各種公共事業にかかる陸上残土の処分コスト(輸送費用と処分費用の合計)の縮減額を輸送便益として計上する

・陸上残土発生土量=163,700m³【1工区のみ対象】

・便益単価=2,613円/m³

・便益額(単純合計):約4.3億円

便益額(H25年度 現在価値):約6.2億円

2) 排出ガスの減少

陸上残土の輸送距離短縮に伴う環境向上の効果として、輸送に伴うCO₂、NO_xの減少量を算出

排出ガスの減少の効果は、排出削減の価値の計測が困難であるため、便益を計測せず、排出ガス減少量を定量的に把握する。

輸送の効率化により、CO₂およびNO_xの排出量がそれぞれ42.9トン、1.0トン削減される

3) 国土保全

・新たな土地の造成(資産の創出)
土砂の受入完了後は、新たな土地となり、資産が創出される。

・土地造成面積=113,258m²
土地の単価は標準地価格を採用する
⇒95,500円/m²

・便益額(単純合計):約108.2億円

便益額(H25年度 現在価値):約100.0億円

◆ 受益者

- ・利用者…輸送便益
- ・地域社会…排出ガスの減少、国土保全